

争議團の活動

争議團は松戸をふり出し、千葉、下野、群馬、栃木、埼玉等の各所へ演説会を開催し、輿論の喚起を以て其の目的とし、また、防備隊の活動を敏化せしめ、会社側の横行を封じ、訪問隊を督して、新工員の家庭を訪問し、其の苦境を慰問し、内部の結束と統制を嚴にし、三月下旬、兵糧を整理し、極力在野の闘争を續けようとする。

家族の活動

四月一日、家族団は、高島、津島、津島、津島等の食料品、炊事道具、一切を積載して、徒歩にて出京し、宮内省及び内務省に陳情する。代表者を出京せしめ、官憲の阻止を免れ、また、五月には、代表者を出京せしめ、官憲の阻止を免れ、また、

左め、食料品の止らぬこと、また、訪問隊を組織し、新工員の家庭を訪問し、争議團の訪問に非常中、援助を與へ、代官の辭めて、帰郷する数、漸次増加し、あり。

直訴事件

三月廿日、副团长梅田氏は、争議團を救済せしめ、東京駅前にて果てしなく直訴を企てた。今、請願令違反として、市会に請願書の收容せしめ、事件は豫審中であるから、之以て、申入ることを願う。

硫酸事件

四月八日、早朝第三次、硫酸事件が起つた。即ち、一般争議團